



秋田県立
能代高校
東京同窓会

会報

NO. 1 1987.10.2
事務局
〒164
東京都中野区中央5-7-1
株友和
TEL.03-383-2111

あ い さ つ

会長 旧3期 板倉 創造

いよいよ秋冷の候となって参りました。

会員の皆様には、ますます御清栄のことと御喜び申し上げます。

昭和62年度総会開催にあたり、多数の会員の方々とお会い出来ますことは、大変喜びとしなければなりません。

この様な形での総会開催は11年を迎える訳ですが、いわば身内の顔なじみの方々ばかりでございますので、御くつろぎ戴きとうございます。

そして交歓談笑のうちに、この宴を楽しく過ごし、同窓生の実りあるものとなることを祈り、総会に寄せる言葉といたします。

あ い さ つ

名誉会長 旧1期 腰山 巳代治

会員の皆様、ますますご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。

おかげ様で本会は、年々発展の一途にありますことは、誠に同慶の至りでございます。

会員相互の親睦と理解を深め、友愛を増し、

I. 広汎な分野において活躍されている諸先輩会員とのつきあいを通じて、視野を広め、情報交

換の場となる総会に。

II. 母校より多数の先生方をお迎えして、和気あいあいとして打ちとける和やかな懇親会に。

会員全員、特に若い年代会員の御意見、御希望を拝聴し会運営に反映したいので、能代高校東京同窓会総会参加を熱望してやみません。

中学校時代の思い出

旧制1期 腰山 巳代治

昭和5年3月、樽子山の旧制能代中学を卒業してから、57年になる。

こし方は茫洋として遥か遠い昔になるが、当時を追憶しながら、思いつくまま申し述べて見たい。

昭和初年当時の吾が国経済は、世界的金融恐慌の嵐が吹きまくる中で、全く深刻な様相を呈していた。産業活動は殆んど停止に近い状況であった。

旧1期卒業生を輩出した昭和5～6年に向け、景気はそのどん底ともいうべき状態になり、企業の殆んどが無配に転じ、解雇、失業、は日をおって激しく、同盟罷業が続発、誠に火の消えたような暗たんたる世相であった。

当時の中学生は、どちらかというとならんと軍人志願者が多かった。世の中が極端に不景気で、皆貧しかったからである。

学校では教練、剣道、修身が正課で、歴史、地理、法経も習った。

配属教官の凛しい姿に憧れ、私も将来将軍になることを夢見て、陸軍士官学校を受験したが、近眼のため希望は達成出来なかった。

昭和6年、満洲事変が勃発、日華事変へと拡大し、やがてそれは太平洋戦争へと突入し、大勢の若い会員が戦死、あたら有為の人材を失ったことは、惜しみてもあまりあることである。

学校では規則は大変きびしかった。服装、身なり、長髪検査は毎朝行われた。酒、煙草はむろんのこと、異性間の交友、デートは厳禁、料理屋、カフェ、喫茶店、ソバヤに於ての飲食は許されなかったし、映画、見せ物は、学校引率以外は絶対に見せない。

生徒の自発的学習を促し、生徒の不断の努力、勉強の習慣付けのため、学校所定の「反省週録」を生徒に書かせ、クラス担任先生のもとへ提出させた。

この努力勤勉の習慣が吾が生涯を通して、私の人間形成に大いに役立ち、感謝している。

貧しい時代であったがよく学びよく運動をした。精力善用するには、運動するよりほかに何も出来なかった時代である。

昼休みでも体操場いっばいにマットや跳箱を拵げて、はねまわったものである。鉄棒のエビ上りができなくて何回もやり直しされ、口惜し涙を流した思い出がある。

後年体操部が全国制覇を幾たびか成し遂げ、オリンピック選手を輩出した源泉は、既にこの頃から芽生えがあった。

体操部生みの親、育ての親である、太田口先生の力があつたことは忘れてはならない。

私は陸上競技と正課の剣道をやったが、鹿渡からの汽車通学であったので、放課後の厳しい練習で遅くなると、太田口先生宅に泊めていただくことがしばしばであった。

今福先生の国語、漢文の授業は厳しかった。が一番身についたと思っている。私は技術屋にしては筆が立つといわれることがあるが、これは今福先生のお蔭で、先生の情熱には心を打たれ、今でも感謝の念を禁じ得ません。

先生は皆きびしかったが、反面温か味があり、新興の活気に満ち、情熱に燃えていたので、71人と数少ない生徒と先生の気持ちが一つに結び合っていた。

旧制1期であるから、立派な能中の校風とか、傳統を築かねばならない。先生も生徒も、心血を注いで団結した。

初代武藤校長はとても厳しい先生で、古武士の風格があつた。質実剛健の校風樹立をよく口にされた。